

保護者の皆様

足代小学校長 西谷 繁人

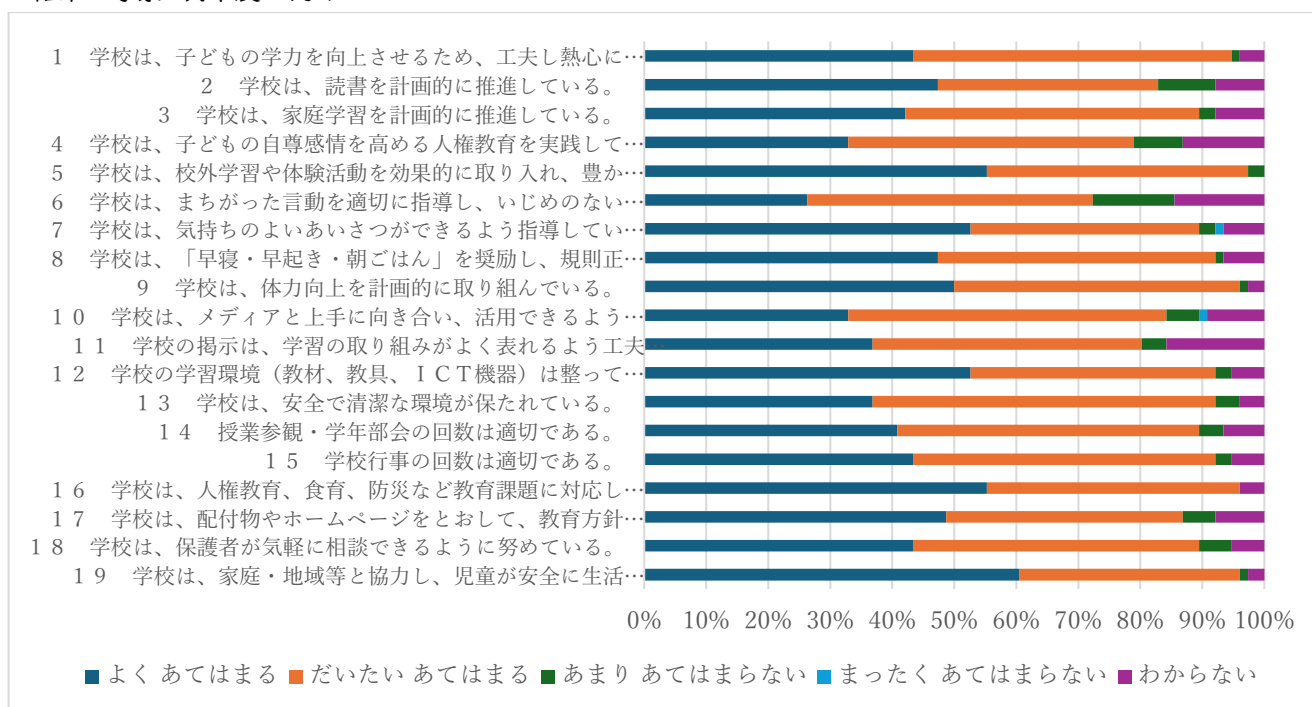
令和6年度足代小学校学校評価の結果について(報告)

足代小学校学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

今回のアンケートからたくさんのご示唆をいただきました。結果等をしっかり踏まえ、今後の教育活動がよりよいものになるよう改善を加え、子どもたちが、校訓「きよく 正しく 強く」を実践し、保護者・地域の皆さんに信頼される学校づくりに教職員一同、全力で取り組んでまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケート結果の考察

<結果と考察・次年度に向けて>



(1)学習について

項目①「学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。」、項目③「学校は、計画的に家庭学習を推進している。」の二項目において肯定的な評価(よくあてはまる、だいたいあてはまる)が90%以上を占め、学習活動がおおむね良好であるという評価をいただきました。昨年度に引き続いての高評価であり、項目③についてはご家庭の協力のおかげで家庭学習の推進が図れたことに感謝いたします。

項目②「学校は、読書を計画的に推進している。」については、昨年より分からないと評価している保護者の方が

多く見られました。「読み聞かせ」や「昼の読書」、「授業における読書活動」「図書委員会による読書推進活動」などの活動をご家庭にも周知できるように工夫していきたいと考えております。

項目⑫「学校の学習環境(教材、教具、ICT 機器)は整っている。」におきましても、昨年度同様90%以上の高評価をいただきました。一人一台端末については、来年度入れ替えを予定しています。また、ご家庭の通信環境を整えていただいている結果、端末の持ち帰りによる家庭学習も充実しました。それにより、児童が簡単に学習を振り返ることができ、学びを積み重ねることができています。

(2)心の教育について

人権教育の項目⑤について、昨年度と同様に肯定的な意見が95%以上を占め、高い評価となっております。各学年が積極的に学校内外の体験活動を取り入れて豊かな経験を積み重ねていきました。

項目⑧「学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。」が昨年度より8%ほど増加しており、「よくあてはまる」の数も多くなっています。子どもたちの健全育成には、学校と各家庭の強い連携が必要です。今後益々、学校・家庭の協力関係がより強いものなるよう、密な情報共有ができるよう取り組んでまいります。

項目④⑥「学校は、子どもの自尊感情を高める人権教育を実践している。」「学校はまちがった言動を適切に指導し、いじめのない集団作りに取り組んでいる」についての項目については、昨年度より低い評価になっており、わからないと回答をいただいているご家庭も多く見られました。足代小学校では、※1スクールワイド PBS 等を取り入れ、教師のみならず子供達も様々な取組を行っております。子供達のがんばりなどポジティブな声かけによって自尊感情を育み、適切な行動を増やすようにしておりますが、十分にご家庭に反映できておらず、再度教職員で意識を高め、来年度改善できるようにしていきます。

項目⑩「学校は、メディアと上手に向き合い、活用できるよう指導している。」についても、85%の高評価をいただいておりますが、昨年度より低くなっております。今後は、実生活での仲間づくりだけでなく、人権尊重の視点に立った情報モラル意識の育成が不可欠です。インターネットで人を傷つけたり被害を受けたりしないように、インターネットにおける人権教育を強く推し進めます。

※1 スクールワイド PBS とは、児童・生徒が望ましいポジティブ(積極的)な行動を学習することで、相対的に望ましくない行動が少なくなる考え方です。学校の実情や課題等を踏まえて行動目標を設定し、全ての児童・生徒を対象に肯定的な指導、支援を行います。

(3)生活について

項目⑦「学校は、気持ちのよいあいさつができるよう指導している。」について、肯定的な評価を90%いただきました。足代小学校ではポジティブな行動支援を、全校で実施しています。教職員だけでなく、※2 GAP委員会を中心にあいさつや掃除といった子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けて学校全体で取り組んで参りました。

項目⑧「学校は、早寝・早起き・朝ごはんを推奨し、規則正しい生活を指導している」では、肯定的な評価が90%を上回り、昨年度同様に高い結果となっております。これは、保護者の方々が子供達のためにと熱心に取り組んでこられた結果だと思っております。今後とも、よろしく願います。

項目⑨「学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。」も、肯定的な評価が95%以上と、昨年度同様、高い評価が出ております。休み時間には担任の先生も外遊びをし、たくさんの児童が元気に遊んでいる結果だと思っております。また、放課後の体育指導にもたくさんの教員が参加し、一輪車やバドミントンの新規購入といった環境整備によって、子ども達の体力向上に努めております。

※2 GAP委員会「がんばる 足代っ子 プロジェクト 委員会」の頭文字をとっています。令和6年度は5人の児童があいさつ運動や、月目標の達成に向けて様々な取組を子供達が考えて実施しています。

(4)学校教育活動について

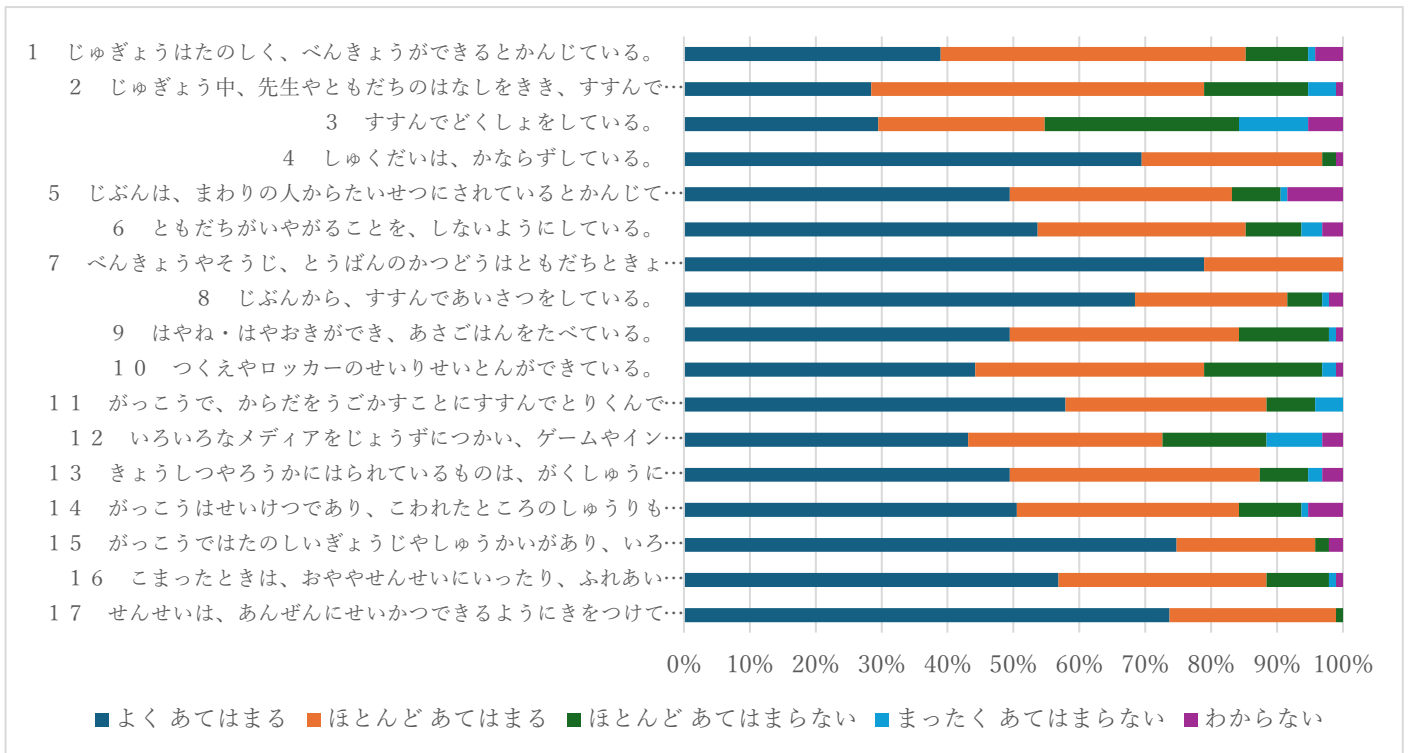
項目⑬「学校は、家庭・地域等と協力し、児童が安全に生活できる活動ができています。」は肯定的な評価が95%

以上と今年度も高い評価をいただきました。毎朝の交通指導を、保護者や地域の皆様が支援してくださっているおかげで、子どもたちの安全が確保されていることに感謝いたします。

項目⑰「学校は、配布物やホームページをとおして、教育方針や教育活動の取組をわかりやすく伝えている。」では、肯定的評価が85%以上となりましたが、分からないと回答された保護者の方もおられました。今後とも、ホームページや学年便り、学校便り、各種お知らせを適宜行い、学校の取組や教育方針についてお伝えしていきます。また、今後、更にわかりやすくタイムリーに情報発信を行い、ご家庭や地域の皆様に学校の様子を伝えるように心がけていきます。

2 児童アンケート結果の考察

<結果と考察・次年度に向けて>



(1) 学習について

項目①「授業は楽しく、勉強ができると感じている。」と肯定的な意見が85%以上あり、学習を意欲的にがんばる児童が多くいることが分かります。

項目②「授業中、先生や友達の話聞き、進んで発表している」は78%と、昨年度と同様の評価が見られましたが、「よくあてはまる」の回答が昨年度より減少しています。自分の意見を発表することに苦手意識がある児童が年々増えてきています。一人一台端末を使った学習を日常的に進めている中で、今後、個人の学びだけでとどまることなく、全体の中で自分の意見を表現し、学び合う機会をより多くとれるよう授業の工夫改善をしていきたいと思ひます。

項目④「宿題は、必ずしている。」は、肯定的な回答が95%以上と、昨年度同様に高い水準です。保護者の皆様のご協力のおかげで、落ち着いて家庭学習に取り組んでいることに感謝いたします。

項目③「進んで読書している。」に関しては肯定的な意見が55%ほどになっています。昨年より大きく下がっています。図書委員会が様々な企画をして図書室にもたくさんの児童が来ておりますが、進んで読書をしていると感じている児童は少ないことが分かりました。様々なメディアがある現在、活字離れといわれていますが、しっかりと文字を読んで考えられるように授業を工夫したり、今子どもたちが本に親しめるよう学校図書を整備したりして、学校生活の中で読書時間を確保していきます。

(2)心の教育について

項目⑦「勉強や掃除、当番の活動は友達と協力してやっている。」については肯定的な評価が100%になっています。掃除の時間には、子供達は一生懸命学校をきれいにしてくれます。委員会や当番の活動も友だちと嬉しそうにがんばってくれています。今後とも、子供達の頑張りを見つけてたくさん褒めていこうと思います。

また項目⑤「自分はまわりの人から大切にされていると感じている。」は、肯定的な評価が少し減り、83%になりました。学校だけでなくご家庭でも、子どもたちの思いを受け止めていただけているおかげだと思います。学校でも子ども達をしっかりと見つめ、児童の自尊感情の向上を目指していきます。

項目⑩「困った時は、親や先生に言ったり、ふれあいメールに書いたりすることができる。」では肯定的な回答が昨年度同様80%を上回っています。ふれあいメールに書けずに一人で悩む子どもが増えないように、子ども一人一人に目を向け、思いをくみとり、安心して学校生活を送れるよう相談体制を整えるとともに、ご家庭と連携し、児童理解に努めて参ります。ご家庭で何かお気づきの点がありましたら、いつでもご相談ください。

(3)生活習慣について

生活に関する内容は、「あいさつ」「早寝・早起き」「整理整頓」「体力向上」の各項目において肯定的な評価が多数見られ、全般的に学校生活を落ち着いて過ごしていると言えます。

項目⑩「机やロッカーの整理整頓する」については、80%程度に低下しております。学校全体をもう一度見直し、整理整頓できているかどうかを点検していきます。教室や個人の物については、定期的に整頓できるような取組をしていけたらと思います。ご家庭でも、子供達自身で身の回りのことができるようにお声かけをしていただけたらと思います。

令和4年度からの追加項目⑫「いろいろなメディアを上手に使い、ゲームやインターネットの時間を決めてしている」については、肯定的な評価が昨年度より低下し70%程度になっています。スマホやゲーム機の利用について、はじめがつけられていないと自己分析しています。今後、メディアとの関わりについて自己の振り返りをもとに、上手な関わり方について考え実践化できるようにします。また、スマホ・ゲーム機の適切な利用についてはご家庭の協力が不可欠ですので、学校での学びに合わせたご家庭での支援をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力くださりありがとうございました。保護者の皆様の学校教育へのご理解ご協力のおかげで、子どもたちが大きく成長しています。

今年度の反省として、全体的に「分からない」と回答される方がおられました。学校の取組をもっと分かりやすく情報発信し、子供達のよりよい成長のために協力していける強い関係を作っていきます。また、気軽に相談できるような開かれた学校にしていきたいと考えております。アンケートの中では、たくさんのお褒めの言葉や、改善点をいただいております。改善点につきましては、よりよくなるように取り組み、今後の教育活動に生かしていきます。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。

(カラー印刷は費用がかかるため、白黒印刷で皆様に配布させていただいております。見えにくくなって大変申し訳ございません。マチコミメールやホームページにカラー版を添付しておりますのでご確認ください。お手数をおかけしますがよろしく願いいたします。)